

令和6年度 特色ある区づくり事業 委員アイデア及び担当課の考え方一覧

資料2-3

整理番号	提案内容	担当課	担当課の考え方
1	<p>【地域課題】 新潟市唯一の温泉地である岩室温泉では、コロナあけで客が戻りつつあるが、残念ながらインバウンドが取り込めていない。</p> <p>【提案】 外国人の誘客を促進するため、SNSでの発信や外国メディアの取り込みなど、積極的にその魅力を海外向けに発信する。</p>	産業観光課	<p>今年度、特色ある区づくり予算「にしかん新ツーリズム誘客事業」でインバウンドを対象とした招聘及び情報発信を観光推進課と連携しながら行う予定です。令和6年度の同事業で継続してインバウンドを対象とした誘客を行う予定です。</p>
2	<p>【地域課題】 コロナ過を経てデジタル化が大幅に加速したこともあり、60歳代も約8割はスマートフォンを所持している。そんな中、西蒲区の指定避難場所や公共施設に公衆無線LANの提供(フリーWi-Fi)が少ない。避難所開設した際は必ず必要とされる。情報収集、安否連絡と、災害時にこそ素早くインターネットを使いたいもの。使わずに済むのが一番ですが、もしもの時のためのフリーWi-Fi。日常的な利便性を高めるだけでなく、防災への取り組みにもなっている。</p> <p>【提案】 ・人が多く集まる場所、コミュニティオアシスとなる所にはフリーWi-Fiや衛星携帯電話、災害時に利用者が自由に使えるパソコンの設置、導入を積極的に考える。(最優先は避難所) ・災害による停電時に飲料が取り出せるなど、災害時に大きな助けとなってくれるWi-Fi自動販売機を増やす取り組みを行う。 既に設置済みの自動販売機もゆくゆくはシフトしていけるよう検討をすすめる。</p>	地域総務課	<p>新潟市内では、指定避難所の約半数にあたる市立小中学校の体育館などにおいて、令和4年度にWi-Fiの整備が完了しており、避難所開設時は、このWi-Fiを開放し、避難者の通信環境を確保する方向で、災害時における運用方法などについて、教育委員会と協議を重ねています。災害時におけるWi-Fiの開放については今年度中に運用を開始する予定で取り組んでいきます。</p> <p>また、ほとんどの避難所に大規模災害時における被災者の通信手段確保のため、特設公衆電話の回線を設置し、電話を配備しています。 なお、衛星携帯電話・パソコンの導入は現在予定しておりません。 災害対応型自動販売機は、設置コストが増大するため各施設に設置するには検討が必要です。</p>
3	<p>【地域課題】 ゴミの分別が徹底されず、未回収ゴミが多く発生している。</p> <p>【提案】 ゴミの未回収の原因の多いものを、区報に掲載するなど繰り返し啓発を行う。 または、チラシの作成、配布。</p>	区民生活課	<p>分別誤りの多いごみの出し方を区だよりに掲載し、啓発を行っています。なお、未回収のごみについては、ボランティア袋(区役所・出張所にあり)を利用して出し直しをお願いしています。</p>
4	<p>【地域課題】 空き家の増加。</p> <p>【課題】 空き家の利活用に向け、「空き家バンク」運営の検討。</p>	地域総務課	<p>西蒲区版「空き家相談会」や「空き家バンク」を設置するための取り組みを行っており、未然防止対策について、関係者と協議を進めています。</p>
5	<p>【地域課題】 買い物したいが近くにお店がなく、移動手段も少ない。私たちは不自由なく今は買いものしているが、高齢者は移動手段が少なく、買い物の機会が減り、ゆえに生活の質や自立性の低下、閉じこもり傾向などにつながる事が考えられる。 例えば ・食事に関わる買い物だけでなく、ホームセンターで庭の手入れの道具や花苗などを探して買いたい。 ・時には洋服や下着なども買いたい。 ・人に渡したいものや孫に何か買ってあげたい。 ・※(買い物とはちがいますが)医者にかかりたいが移動手段が少なく、定期受診が大変。</p> <p>【提案①】 各施設の送迎用マイクロバスの空き時間をお借りし、お買い物ルートなどを走ってもらう。また、買い物同行も行う。 ・月1回→週に1回状況をみて増やせたら ・マイクロバス運転手 ・買い物同行者</p> <p>R6年度は事業者とコラボで、「にしかん おでかけ時間×「ニアケル」」→次年度以降はこのシステムを事業者へ委託し、地域に根づかせるきっかけにする。 (※「ニアケル」は巻駅の前のバルズビル2階で介護や外出支援等を行っている事業者) 施設のマイクロバスをお借りすることで、利用者さんへ施設名を知っていただけたりとメリットがあり空き時間の有効活用ができるかと思う。</p> <p>【提案②】 地域内のある特定の場所(空き家などを活用)で、民間企業などとコラボし、月に数回、出張スーパーマーケット(ふれあいマーケット)を開設する。 また、開設時に、現在、市で取り組んでいるような認知症サポート研修や養成講座などを行い、サポーターから実践研修などを兼ね買い物の手伝いをしてもらう。</p>	<p>地域総務課</p> <p>健康福祉課</p>	<p>今後ますます高齢化が進んでいくなか、移動手段の確保は重要であると認識しています。 一方、行政の力だけではニーズに十分応えることが難しい状況にあり、ご提案の移動サービスや出張スーパーマーケットなどを区が実施するためには、費用や車両の確保、事故への備えなどの課題を整理、解決する必要があります。 今後、早急に高齢者の移動手段を検討していくなかで、ご提案の内容も含めて検討していきたいと考えます。</p>

整理番号	提案内容	担当課	担当課の考え方
6	<p>【地域課題】 認知症状のある方にとって、さらに暮らしやすくしていくためには希薄化してきている地域性を少しでも変え始めていく必要がある 地域・暮らしの中で何かしらの関わり合いが持てる機会があるといい。 ・認知症状のある方の暮らしやすさは地域の中で、育てているのか。 ・認知症サポーター(小中学生の子供たちも含め)として何気ないことでも何か経験したり、サポーターとして実感できる機会があるといいのでは。</p> <hr/> <p>【提案】 「(認知症サポーターの)移動マーケットカー」 認知症サポーターが店員として、地域のあちこちに移動販売の車を走らせて回る → 予め場所や時間を決め運転手以外の方はそれぞれの場所でマーケットの準備をして、お客さんを待つ。</p> <p>各地域の民生委員さんと連携し、外出しにくい一人暮らしの方や介護されている方、認知症の方に限らず、足がなく買い物に行けない方がマーケットカーに来て、サポーターさんたちとおしゃべりしたりしながら暮らしに必要なものを買う。そうしたところから暮らしの困りごとや地域のことを知り、サポーター同士で考えたり、関係機関へつなげたりすることができる。 サポーターが主体性をもって参加できるよう、販売内容や場所、そのほかの決め事をする時点から加わってもらいたいのでは？ 地域が少しでも変わるきっかけになればと思う。</p>	健康福祉課	<p>認知症サポーターは何か特別なことをする人ではなく、その人のできる範囲で認知症の方を温かく見守っていただくというものです。認知症サポーターステップアップ講座(1回/年)も開催されており、受講したことを見直す機会となっておりますので、ぜひご活用いただければと思います。</p> <p>ご提案いただいた内容につきましては、様々な機会を捉え、関係者で共有するほか、サポーターの皆さんにも養成講座を通じてご紹介していきます。</p>
7	<p>【地域課題】 土日など、上堰潟公園周辺の新潟寺泊線は道路渋滞が発生している。</p> <hr/> <p>【提案】 上堰潟公園周辺の道路脇看板や信号機の設置により、渋滞の解消を図る。</p>	地域総務課 建設課	<p>上堰潟公園周辺の松野尾地域コミュニティ協議会と角田地区コミュニティ協議会から同様のご提案をいただいております。</p> <p>信号機設置について交通管理者である警察に要望していますが、歩行者滞留場所がないこと、ピーク時間帯1時間における従道路交通量が少ないことから、現時点での設置の必要性は認められない旨、回答がありました。</p> <p>現在は、地元の松野尾地域コミュニティ協議会の皆様と相談しておりますので、対策方法等が決まりましたら、情報提供させていただきます。</p>
8	<p>【地域課題】 上堰潟公園の魅力アップ</p> <hr/> <p>【提案】 上堰潟公園は多くの人たちが利用しており、四季の花を觀賞したり、わらアートも定着している。 さらに市内、県内の人たちからより認知をいただくため、イベント(キッズダンス、音楽祭など)の実施や付近の地区を含めたウオーキング大会の実施も良いと思う。 また、水辺の近くでイルミネーションなどの設置を行い、魅力を高めていくと思う。</p>	建設課 産業観光課	<p>来園者が安全・快適に利用できる環境となるよう、適切な維持管理に努めるとともに、イベント等の開催につきましては、積極的にご協力させていただきます。</p> <p>また、仮設駐車場を舗装し区画線と柵を設置することで安全性を向上させるとともに、わらアート作品等のLEDライトアップにより昼間とは異なった空間・世界観を鑑賞することで更なる魅力を発信するため、区づくり予算とは別に令和6年度予算要求を行います。</p>
9	<p>【地域課題】 西蒲区内の各地域での、お祭り、イベントなどについて見に行く方も含め、旧市町村単位で関わっている事が多く、にしかんとしてもっと一体感が必要と思われる。</p> <hr/> <p>【提案】 各地のお祭り、イベントなど、各コミ協、各実行委員会に関わっている皆さんが、もっと積極的に各地の催し物を見に行き、また、運営面でも協力できる体制を作ることによって交流が深めることが出来、にしかんとして一体感が出るのではないかと思います。 また、今回開催した「にしかんパレード」を今後も各地域に回って、一体感を醸成してはどうか。</p>	地域総務課 産業観光課	<p>今年度実施のにしかんパレードは、地域の伝統芸能のパレードとディズニーパレードのコラボレーションで行い、来場者数約6万人と大盛況で終了しました。これにより、西蒲区の魅力が内外に発信され、かつ、区の一体感醸成が図られたと考えています。</p> <p>パレードに限定せず、区の一体感醸成に向けた取り組みは必要と考えていますので、特色ある区づくり事業で検討していきます。</p>